

5

午後

(13時30分～15時30分)

問 題


- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

シール貼付欄	 0A-0001	受験番号	0A-0001	氏名	心理 花子
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------	------	---------	----	-------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を [例 1] 及び [例 2] では 1 つ、[例 3] では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1] 及び [例 2] の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3] の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
1	①	●	③	④

解答用紙 B の場合

1	1
①	①
②	●
③	③
④	④

[例 2] 我が国における現在の元号として、正しいものを1つ選べ。

① 寛永 正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

② 元禄

③ 昭和

④ 大化

⑤ 令和

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

2	①	②	③	④	⑤
↓					
2	①	②	③	④	●

2	2
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	●

[例 3] 次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを2つ選べ。

① 川崎市 正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。

② 倉敷市

③ 仙台市

④ 高松市

⑤ 北九州市

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

3	①	②	③	④	⑤
↓					
3	①	②	●	●	⑤

3	3
①	①
②	②
③	●
④	●
⑤	⑤

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●~~○~~~~○~~~~○~~~~○~~ (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問78 小児科外来で、医師が2日前に階段から転落した乳幼児の診察中に、虐待が疑われる外傷を認めた。医師が更に診察を行う間、乳幼児を連れてきた親の面接を依頼された公認心理師の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 親の生育歴を聞く。
- ② 親の悩みや感情を聞く。
- ③ 受傷起点の詳細を聞く。
- ④ 受傷と受診の時間差の理由を聞く。
- ⑤ 他の家族が受傷に関与している可能性を聞く。

問79 高齢者福祉領域で働く公認心理師の業務について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 利用者と家族が安全に面会できるように、感染症予防対策マニュアルを単独で作成した。
- ② 経済的虐待が疑われたが、当事者である利用者から強く口止めされたため、意向を尊重して誰にも報告しなかった。
- ③ カンファレンスで心理的アセスメントの結果を報告する際、分かりやすさを優先して専門用語の使用を控えて説明した。
- ④ 訪問介護員から介護負担が大きい家族の情報を入手し、その家族宅を訪問して、要介護者に対して MMPI を実施した。
- ⑤ 面接中に利用者の片側の口角が急に下がり、言語不明瞭になったが、話す内容がおおむね分かるため予定時間まで面接を継続した。

問80 G. W. Allport や R. B. Cattell らの特性論の考えを引き継ぎ、
L. R. Goldberg が指摘した性格特性理論の基盤となっている統計手法と
して、適切なものを1つ選べ。

- ① 因子分析
- ② 分散分析
- ③ 共分散分析
- ④ 重回帰分析
- ⑤ クラスタ分析

問81 感情が有効な手がかりになる際には、判断の基盤として感情を用い
るが、その影響に気づいた場合には効果が抑制されると主張している感
情に関する考え方として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 感情情報機能説
- ② 認知的評価理論
- ③ コア・アフェクト理論
- ④ 感情ネットワーク・モデル
- ⑤ ソマティック・マーカー仮説

問82 質的研究における、分析結果の解釈の妥当性を高める方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① インタビュー
- ② コーディング
- ③ メンバー・チェック
- ④ アクション・リサーチ
- ⑤ グラウンデッド・セオリー・アプローチ

問83 全対象者に一連の番号を付け、スタート番号を乱数によって決め、その後、必要な標本の大きさから求められた間隔で研究対象者を抽出する方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 系統抽出法
- ② 集落抽出法
- ③ 層化抽出法
- ④ 多段抽出法
- ⑤ 単純無作為抽出法

問84 注意の抑制機能に関連する現象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 盲視
- ② 相貌失認
- ③ ファイ現象
- ④ McGurk 効果
- ⑤ ストループ効果

問85 特定の鍵刺激によって誘発される固定的動作に関連する用語として、正しいものを1つ選べ。

- ① 般化
- ② 臨界期
- ③ 刻印づけ
- ④ 生得的解発機構
- ⑤ プライミング効果

問86 行動の学習について、正しいものを1つ選べ。

- ① 古典的条件づけでは、般化は生じない。
- ② 味覚嫌悪学習は、脱馴化の典型例である。
- ③ 部分強化は、連続強化に比べて反応の習得が早い。
- ④ 危険運転をした者の運転免許を停止することは、正の罰である。
- ⑤ 未装着警報音を止めるためにシートベルトをすることは、負の強化である。

問87 パーソナリティの5因子モデルのうち、開放性に関連する語群として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 寛大な、協力的な、素直な
- ② 怠惰な、無節操な、飽きっぽい
- ③ 陽気な、社交的な、話し好きな
- ④ 悩みがち、動揺しやすい、悲観的な
- ⑤ 臨機応変な、独創的な、美的感覚の鋭い

問88 脈絡叢(みゃくらくそう)で産生され、中枢神経系の保護と代謝に関わるものとして、適切なものを1つ選べ。

- ① 血液
- ② 粘液
- ③ 組織間液
- ④ 脳脊髄液
- ⑤ リンパ液

問89 ある実験において、写真に写った本人は左右反転の鏡像をより好み、その友人は同じ人の正像をより好むという結果が得られたとする。この結果を説明する心理学概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 傍観者効果
- ② 単純接触効果
- ③ ピグマリオン効果
- ④ 自己中心性バイアス
- ⑤ セルフ・ハンディキャッピング

問90 J. J. Arnett が提唱した発達期として、正しいものを1つ選べ。

- ① 若者期〈youth〉
- ② 超高齢期〈oldest-old〉
- ③ ポスト青年期〈post adolescence〉
- ④ 成人形成期〈emerging adulthood〉
- ⑤ 成人後期移行期〈late adult transition〉

問91 C. A. Rapp が提唱したストレングス・モデルの説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 強化子を積極的に活用する。
- ② 地域の資源を優先的に活用する。
- ③ クライエントに支援計画の遵守を指示する。
- ④ クライエントの症状や障害に焦点を当てる。
- ⑤ 症状の消失をリカバリーの到達目標にする。

問92 H. S. Sullivan の関与しながらの観察の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 支援者と要支援者双方の相互作用の中で共有される治療構造のことである。
- ② 要支援者との関わりにおいて生じる、共感不全に注目した観察を基本とする。
- ③ 支援者は、要支援者との関係で生じる事態に巻き込まれざるを得ないという認識を前提とする。
- ④ 支援者が要支援者に対し、問題行動を修正する介入を行い、その効果を観察し分析することである。
- ⑤ 投影同一化によって要支援者から投げ込まれたものとして、支援者が自己の逆転移を観察することである。

問93 質問紙法による心理検査の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CAARS は、自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害の重症度を測定する。
- ② GHQ は、心理的ウェルビーイングを測定する。
- ③ IES-R は、ストレスを測定する。
- ④ MAS は、特性不安を測定する。
- ⑤ POMS は、認知特性を測定する。

問94 心理的アセスメントに関する説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 心理的側面だけでなく、環境を評価することも重要である。
- ② クライアントが物語を作る心理検査全般をナラティブ・アプローチという。
- ③ 医師の診断補助として行う際は、客観的な心理検査のデータだけを医師に伝える。
- ④ 目的は、初期に援助方針を立てることであり、終結の判断材料とすることは含まない。
- ⑤ テスト・バッテリーでは、検査者が一部のテストに習熟していなくても、他のテストによって補完できる。

問95 動機づけ面接の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① クライアントに自身の抵抗への気づきを促す。
- ② クライアントのポジティブな面の承認は控える。
- ③ クライアントの問題についての例外探しをする。
- ④ ラディカル・アクセプタンスを基本的姿勢とする。
- ⑤ クライアントの変化に対する両価性に関わる問題を扱う。

問96 ストレス状況で副腎髄質から分泌が促進されるホルモンとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① インスリン
- ② メラトニン
- ③ アドレナリン
- ④ コルチゾール
- ⑤ サイロキシン

問97 依存症者の家族や友人を主な対象とする自助グループに該当するものを1つ選べ。

- ① 断酒会
- ② ダルク〈DARC〉
- ③ アラノン〈Al-Anon〉
- ④ ギャンブラーズ・アノニマス〈GA〉
- ⑤ アルコホーリクス・アノニマス〈AA〉

問98 L. Temoshok と B. H. Fox が提唱し、がん患者に多いとされるタイプ C パーソナリティについて、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 競争を好む。
- ② 協力的である。
- ③ 攻撃的である。
- ④ 自己主張が強い。
- ⑤ 不安を感じやすい。

問99 知的障害児の適応行動の評価で使用する心理検査として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① CDR
- ② WISC-IV
- ③ Vineland- II
- ④ 田中ビネー知能検査 V
- ⑤ グッドイナフ人物画検査

問100 DSM-5における素行症／素行障害の説明として、適切なものを1つ選べ。

- ① 素行症を持つ人の反抗や攻撃性は、反抗挑発症を持つ人よりも軽度である。
- ② 素行症における虚偽性には、義務を逃れるためしばしば嘘をつくことが含まれる。
- ③ 診断基準にある重大な規則違反には、性行為の強制、ひったくり及び強盗が相当する。
- ④ 素行症は、発症年齢によって、小児期発症型、青年期発症型又は成人期発症型に特定される。
- ⑤ 問題行動歴のない者でも、被害者を死亡させる重大事件を起こした場合には、素行症と診断される。

問101 発達障害者が一般就労を行おうとしているときに利用するサービスとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 行動援護
- ② 就労定着支援
- ③ 就労継続支援 B 型
- ④ リワークによる支援
- ⑤ ジョブコーチによる支援

問102 職場のメンタルヘルス対策に関する内容として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 人事労務管理とは切り離して推進する。
- ② ストレスチェック制度とは独立した活動として進める。
- ③ 家庭や個人生活などの業務に直接関係しない要因は、対策の対象外とする。
- ④ 管理監督者は、部下である労働者のストレス要因を把握し、その改善を図る。
- ⑤ 労働者の心の健康に関する情報を理由として、退職勧奨を行うことができる。

問103 DSM-5の身体症状症および関連症群における身体症状症について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 身体の一部に脱力が起こる。
- ② 視覚や聴覚の機能が損なわれる。
- ③ 疾患を示唆する身体症状を意図的に作り出している。
- ④ 重篤な疾患に罹(り)患することへの強い不安がある。
- ⑤ 身体症状に関連した過度な思考、感情または行動がある。

問104 Basedow 病の症状として、正しいものを1つ選べ。

- ① 動悸
- ② 便秘
- ③ 寒がり
- ④ 顔のむくみ
- ⑤ 声のかすれ

問105 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉による「指定難病」について、正しいものを1つ選べ。

- ① 治療法が確立している。
- ② 発病の機構が明らかではない。
- ③ 指定難病とされた疾患数は約 30 である。
- ④ 医療費助成における自己負担額は一律である。
- ⑤ 客観的な診断基準又はそれに準ずるものが定まっていない。

問106 インスリン治療中の糖尿病患者にみられる低血糖の初期症状として、適切なものを1つ選べ。

- ① 血圧の低下
- ② 体温の上昇
- ③ 尿量の増加
- ④ 発汗の増加
- ⑤ 脈拍の減少

問107 強迫症の症状として、適切なものを1つ選べ。

- ① 儀式行為
- ② 欠神発作
- ③ 常同行為
- ④ 連合弛緩
- ⑤ カタレプシー

問108 向精神薬の抗コリン作用によって生じる副作用として、適切なものを1つ選べ。

- ① 下痢
- ② 口渇
- ③ 高血糖
- ④ 眼球上転
- ⑤ 手指振戦

問109 児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉の内容として、正しいものを1つ選べ。

- ① 親権停止の要件
- ② 社会的養護の種類
- ③ 人身保護請求の要件
- ④ 児童虐待を行った保護者への罰則
- ⑤ 児童虐待に係る通告をした者を特定させるものの漏えい禁止

問110 労働安全衛生規則に定められている産業医の職務として、正しいものを1つ選べ。

- ① 人事評価
- ② 健康診断の実施
- ③ 従業員の採用選考
- ④ 従業員の傷病に対する診療
- ⑤ 職場におけるワクチン接種の実務

問111 A. R. Jonsen が提唱する臨床倫理の四分割表の検討項目に該当しないものを1つ選べ。

- ① QOL
- ② 医学的適応
- ③ 患者の意向
- ④ 周囲の状況
- ⑤ 個人情報の保護

問112 A. E. Ivey と M. Ivey のマイクロカウンセリングにおける「かかわり行動」の重要な 4 要素に該当しないものを 1 つ選べ。

- ① 声の調子
- ② 自己開示
- ③ 言語的追従
- ④ 視線の位置
- ⑤ 身体的言語

問113 生後 1 年目までにみられる社会情動的発達に関わる現象として、不適切なものを 1 つ選べ。

- ① 恥の表出
- ② 人見知り
- ③ 怒りの表出
- ④ 社会的参照
- ⑤ 社会的微笑

問114 E. Kübler-Ross が提唱した死に対する心理的反応段階に含まれないものを1つ選べ。

- ① 怒り〈anger〉
- ② 否認〈denial〉
- ③ 受容〈acceptance〉
- ④ 離脱〈detachment〉
- ⑤ 取り引き〈bargaining〉

問115 DSM-5 の躁病エピソードの症状として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 離人感
- ② 観念奔逸
- ③ 睡眠欲求の減少
- ④ 目標指向性の活動の増加
- ⑤ 自尊心の肥大、または誇大

問116 心理的な支援を行う際のインフォームド・コンセントの説明として、不適切なものを1つ選べ。

- ① リスクの説明を含む。
- ② 支援の経過に応じて常に行われる。
- ③ 他の可能な支援方法の提示は控える。
- ④ 文書だけではなく、口頭のみによる説明もある。
- ⑤ クライアントだけではなく、代諾者に対しても行われる。

問117 スクールカウンセラーが児童生徒理解を進める上で、不適切なものを1つ選べ。

- ① 児童生徒に具体的な支援を行う前に詳細な心理検査を行う。
- ② 身体的、心理的及び社会的な側面からの理解を大切にする。
- ③ 児童生徒の言動を批判したくなる場合でも、まずは共感的な態度で話を聴く。
- ④ 作文や授業で制作した絵や造形物などの表現を通して児童生徒の理解に繋げる。
- ⑤ 児童生徒の課題を深く理解するために、関係する教師が参加する事例検討会を開催する。

問118 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の説明として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 行政機関と事業者における障害を理由とする差別が禁止されている。
- ② 国と地方公共団体だけでなく、国民の責務についても定められている。
- ③ 判断能力が不十分な障害者に対する後見開始の審判について定められている。
- ④ 「障害者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として制定されている。
- ⑤ 障害の有無によって分け隔てられることなく、共生社会の実現に資することを目的としている。

問119 高等学校でスクールカウンセラーがストレスマネジメントに関する心理教育の授業を行う場合の内容や方法として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 筋弛緩法や呼吸法などの体験的な内容の導入は控える。
- ② 自分自身にあったコーピングを考えられるような内容にする。
- ③ 自分自身の心身のストレス反応について理解できる内容を含める。
- ④ 養護教諭や保健体育科の教師などと事前に打ち合わせて共同授業を行う。
- ⑤ 進学や就職などの好ましい出来事であっても、それに伴う心身の変化に注意するよう助言する。

問120 公認心理師の行為のうち、登録が取り消される場合があるものを1つ選べ。

- ① 公認心理師としての資質の向上を怠った。
- ② 公認心理師の信用を傷つける行為をした。
- ③ 高校生のカウンセリングを行うに当たって、担任教師と連携しなかった。
- ④ クライエントの自殺を回避するために、面接で得た秘密を関係者に伝えた。

問121 BDI-IIの説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病の診断に単独で用いる。
- ② 最近1か月の状態を評価する。
- ③ 体重減少を問う評価項目がある。
- ④ 睡眠時間の増加を問う評価項目がある。

問122 児童生徒の自殺が発生した学校への緊急支援に関わる公認心理師の活動として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 全体的対応ではなく、個別的対応に特化した支援に携わる。
- ② 児童生徒の混乱を防ぐため、事実に基づく正確な情報を早い段階で伝えることは控える。
- ③ トラウマ反応の予防のため、最初の職員研修において心理的デブリーフィングを実施する。
- ④ いらいらや食欲不振といった、心身の反応については、特殊な事態における一般的な反応であると児童生徒や関係者に伝える。

問123 高等学校における自殺予防教育について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 生徒はゲートキーパー養成の対象ではない。
- ② 自殺の危機が迫っている場合の介入として行う。
- ③ 自殺について教師と生徒が率直に話し合う機会を設ける。
- ④ 自殺予防教育では、「死にたい」という生徒は自殺の心配がないことを説明する。

問124 いじめ防止対策推進法及びいじめの防止等のための基本的な方針（平成29年改定、文部科学省）の内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 学校いじめ対策組織に、スクールカウンセラーが参画する。
- ② 学校は、学校いじめ防止プログラムやいじめの早期発見・事案対処のマニュアルを策定する。
- ③ いじめの判断には、他の児童生徒からの行為で生じた被害者の心身の苦痛が客観的に認められる必要がある。
- ④ 教職員がいじめ問題に対して適切な対処ができるよう、スクールカウンセラー等の専門家を活用した校内研修を推進する。

問125 E. Rodolfa らの提唱する心理職の基盤的コンピテンシーに該当するものを2つ選べ。

- ① 介入
- ② 関係形成
- ③ 反省的实践
- ④ コンサルテーション
- ⑤ 心理的アセスメント

問126 地域包括ケアシステムについて、正しいものを2つ選べ。

- ① 医療と介護の連携強化を図っている。
- ② 地域包括支援センターには、医師が常駐している。
- ③ 利用者のケアが中心であり、権利擁護については取り扱わない。
- ④ 地域ケア会議では、多職種が協働して個別事例の課題解決を図っている。
- ⑤ 要介護者が介護施設に入所して、集団的ケアを受けることを目的としている。

問127 リラクゼーションを主な目的とする技法として、適切なものを2つ選べ。

- ① 自律訓練法
- ② 漸進的筋弛緩法
- ③ 睡眠スケジュール法
- ④ トークン・エコノミー法
- ⑤ アサーション・トレーニング

問128 C. R. Rogers のクライアント中心療法における共感的理解の説明として、適切なものを2つ選べ。

- ① クライアントを知的に理解することではない。
- ② 進行中のプロセスとして保持すべき姿勢である。
- ③ セラピストによって、言語的、非言語的に伝えられる。
- ④ クライアントの建設的な人格変化の必要十分条件ではない。
- ⑤ クライアントの私的世界と一体化することを最優先とする。

問129 睡眠時無呼吸症候群を疑わせる症状として、適切なものを2つ選べ。

- ① 血圧の低下
- ② 体重の減少
- ③ 日中の眠気
- ④ 寝付きの悪さ
- ⑤ 激しいいびき

問130 我が国の里親制度に関する説明として、正しいものを2つ選べ。

- ① 養子縁組里親は、家庭裁判所の審判により決定される。
- ② 親族里親は、祖父母等の親族が養育を行う里親制度である。
- ③ 全ての里親は、子どもの日常生活にかかる費用の支給を受ける。
- ④ 養育里親は、法律上の親子関係を成立させることを目的とする。
- ⑤ 専門里親は、児童相談所に付設する施設において、子どもの保護を行う。

問131 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援について、適切なものを2つ選べ。

- ① 本人の意思決定をプロセスとして支援するものである。
- ② 本人の意思を支援者の視点で評価し、支援すべきと判断した場合に行う。
- ③ 本人が最初に示した意思を尊重し、その実現を支援することが求められる。
- ④ 意思決定支援を行う上で、本人をよく知る家族も意思決定支援者の立場で参加する。
- ⑤ 社会資源の利用で本人と家族の意思が対立した場合には、家族の意思決定を優先する。

問132 軽度認知障害[mild cognitive impairment<MCI>]に関する説明として、適切なものを2つ選べ。

- ① 不可逆的な状態である。
- ② 日常生活動作は低下している。
- ③ 記憶障害は診断の必須要件である。
- ④ 認知機能評価には MoCA-J が有用である。
- ⑤ DSM-5 では、神経認知障害群に含まれる。

問133 2006年(平成18年)に改正された教育基本法で、新たに規定された事項として、正しいものを2つ選べ。

- ① 社会教育
- ② 政治教育
- ③ 教育の機会均等
- ④ 生涯学習の理念
- ⑤ 学校、家庭及び地域住民等の相互の連携教育

問134 刑事施設において、受刑者に対して行われる特別改善指導に該当するものを2つ選べ。

- ① 家族関係指導
- ② 行動適正化指導
- ③ 薬物依存離脱指導
- ④ 自己改善目標達成指導
- ⑤ 被害者の視点を取り入れた教育

問135 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉に基づいて事業主が行うべき雇用環境の整備として、適切なものを2つ選べ。

- ① 事業主が、女性労働者の婚姻、妊娠又は出産を退職理由として予め定めておくこと
- ② 労働者の採用に当たって、転居を伴う転勤に応じることができることを要件とすること
- ③ 男女労働者間に生じている格差解消を目的として、女性労働者のみを対象とした取扱いや特別な措置をすること
- ④ 事業主が女性労働者を深夜業に従事させる場合、通勤及び業務の遂行の際に男性労働者と同じ条件で措置を講ずること
- ⑤ 事業主が労働者から性別を理由とした差別的な取扱いに関する苦情の申出を受けた際に、苦情処理機関に対し当該苦情の処理を委ねること

問136 15歳の男子 A、中学3年生。Aは、不登校状態のため友人と疎遠になり、話し相手は母親 Bのみである。長年単身赴任をしている父親 Cは、赴任先からたまに帰宅すると、Aの不登校について Aと Bを厳しく叱り、母子は口をそろえて Cの無理解をなじる。高校進学を控える Aに対して、Cは全日制高校への進学を勧めるが、Aと Bは、Cと
言い争った末に、通信制高校への出願を決めた。

家族システム論の観点から、Aとその家族関係を説明する心理学概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 連合
- ② 自己分化
- ③ 遊離家族
- ④ 親役割代行
- ⑤ 情緒的遮断

問137 20歳の女性A、大学2年生。1か月前から男性Bと交際している。AはBが誰か別の人物と一緒に食事をしたり、自分が知らないうちに出かけた話を聞いたりすると不安が高まり、Bの行動に疑念を抱くという。AはBの行動を常に確認しないと安心できず、Bがソーシャル・ネットワーキング・サービス〈SNS〉に投稿する内容を常に確認し、Bの携帯端末の画面に表示される通知を頻繁にのぞき込んでしまう。そのことでAとBは言い争いをし、関係が悪化する状態が繰り返されている。

Aの状態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 感情の誤帰属
- ② 恋愛の色彩理論におけるアガペ型
- ③ 愛の三角理論におけるコミットメント
- ④ とらわれ型のアタッチメント・スタイル
- ⑤ 同一性地位〈アイデンティティ・ステータス〉理論における早期完了

問138 7歳の女児 A、小学1年生。両親による身体的虐待やネグレクトにより4歳から児童養護施設で生活している。Aは、学業成績に問題はなく、質問への返答も的確である。その一方で、施設入所以来、笑うことがなく、苦痛や不平を一切訴えることがない。また、他人と交流せず孤立しており、Aはそれを苦痛に感じていないようであった。ある日、Aが学校で継続的ないじめを受けていることが発覚した。加害児童は、「Aは話しかけても無視するし、全然笑ってくれない」と話した。施設の担当職員に対しては入所時よりも若干柔らかい表情を示すようになってきている。

DSM-5の診断基準から考えられるAの病態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 脱抑制型対人交流障害
- ② 心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉
- ③ 反応性アタッチメント障害／反応性愛着障害
- ④ 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉
- ⑤ 小児期発症流暢症(吃音)／小児期発症流暢障害(吃音)

問139 23歳の女性A、会社員。高校時代にわいせつ行為の被害に遭った。大学卒業後、会社員となったが、今年の社員旅行の際に、仕事の関係者から性行為を強要されそうになり、何とかその場から逃げ出したものの、帰宅後に強い心身の不調を自覚した。その後3か月経っても症状が改善しないため、精神科受診に至った。同じような悪夢を繰り返し見ることが続き、よく眠れない。「このような被害に遭うのは、私が悪い」、「自分は駄目な人間だ」と話す。

Aの状態像を把握することを目的に、公認心理師が行う可能性のある心理的アセスメントとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CAPS
- ② DN-CAS 認知評価システム
- ③ JDDST-R
- ④ KABC-II
- ⑤ TEG

問140 公認心理師 A。台風の影響が出たため、災害派遣チームの一員として避難所を訪れ、心理教育を目的に講習会を開くことになった。Aは、被災によるストレスについて講義をした後、一部の参加者が残って自発的な話し合いをもった。ある人が、「洪水で流された家があるが、自分の家は浸水もしなかった。申し訳ない」と涙ながらに語った。別の人は、「自分の家は浸水したが、家族は無事だった。家族に不明者がいるという話を聞くたびに、自分も罪の意識を感じる」と語った。二人の発言を、皆はうなずきながら聞いていた。

ここで生じているコミュニケーションについて、I. D. Yalom の集団療法の概念として、適切なものを1つ選べ。

- ① 普遍性
- ② 愛他主義
- ③ カタルシス
- ④ 情報の伝達
- ⑤ 希望をもたらすこと

問141 17歳の男子A、高校2年生。Aは、監視されているという恐怖のため登校できなくなり、母親Bに連れられて高校のカウンセリングルームの公認心理師Cのもとへ相談に訪れた。Aは、1か月ほど前から、外出すると自分が見張られており、家の中にも外から監視されていると感じ、怖くてたまらなくなった。「見張られていること、監視されていることは間違いない」、「自分が考えていることが他者に伝わってしまう」とAは言う。Aに身体疾患はなく、薬物の乱用経験もない。Bは、「カウンセリングによってAの状態を良くしてほしい」とCに伝えた。

この時点でのCによる対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aに対して支持的心理療法を開始する。
- ② しばらく様子を見ることをAとBに伝える。
- ③ Aに対して集団でのSSTへの参加を勧める。
- ④ 薬物療法が有効である可能性をAとBに説明する。
- ⑤ Bの意向を踏まえて、Aに対してカウンセリングを開始する。

問142 45歳の男性 A、会社員。総合病院の内科外来で2年前から2型糖尿病の薬物療法を受けている。不眠が近頃ひどくなり、内科の主治医に相談した。Aは、1年前から仕事が忙しくなり、深夜に暴飲暴食をすることが増えた。Aの体重が増加していることや、血糖値のコントロールが悪化していることをAの妻は心配しており、口げんかになることも多い。1か月前から、未明に目が覚め、その後眠れないようになった。日中は疲労感が続き、仕事を休みがちである。趣味にも関心がなくなった。心理的支援が必要と考えた主治医から院内の公認心理師 B へ依頼があった。

現時点における B の A への対応として、最も優先すべきものを1つ選べ。

- ① 睡眠衛生指導
- ② 家族関係の調整
- ③ 抑うつ状態の評価
- ④ 身体イメージの評価
- ⑤ セルフ・モニタリングの導入

問143 60歳の男性A、俳人。物忘れが最近増えてきたことを心配した同居の息子Bに連れられ、精神科クリニックを受診した。黙っているAに代わって話をしたBによると、Aは、半年前から膝が上がらなくなり、徐々に歩幅が小さくなった。今では、脚が左右に開き気味で、歩行が不安定である。また、3か月ほど前からトイレに行く頻度が増え、近頃は、間に合わずに尿を漏らすこともある。日中は、ぼんやりしていることが多く、楽しみにしていた地域の句会にもしばらく参加していない。一方で、夜間はよく眠れており、食欲も以前と変わらず、奇異な訴えもない。

Aに考えられる病態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 正常圧水頭症
- ② 老年期うつ病
- ③ 前頭側頭型認知症
- ④ Lewy小体型認知症
- ⑤ Alzheimer型認知症

問144 32歳の女性A、会社員。Aは、持病の視神経炎が悪化し、ステロイドパルス療法を受けるため、総合病院に入院した。治療開始後5日目から、食欲低下と不眠が続いている。10日目の夜、病棟内を落ち着きなく歩き回り、看護師に不安やいらだちを繰り返して訴えた。意識障害はなく、原疾患以外の明らかな身体所見も認められていない。眼科の主治医から依頼を受けた精神科リエゾンチームがAの病室を訪問したところ、いらいらした様子で、「どうせ分かってもらえません」と言ったり、「私が悪かったんです」とつぶやいたりして、涙ぐんだ。

Aの症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 強迫行為
- ② 誇大妄想
- ③ 前向性健忘
- ④ 抑うつ気分
- ⑤ パニック発作

問145 24歳の女性A。同居している男性Bから繰り返し暴力を受けている。ある日、怪我をしているAを心配して友人が問い詰めたところ、Bから日常的に暴力を受けていると語ったため、Bとの関係を解消し、家を出るように勧めた。一時は、「関係を解消しようかな」と言っていたAであったが、結局Bとの関係を解消することはなく、再び暴力を受けることになった。その後も周囲が関係の解消や相談機関への相談を勧めたことで、一時家を離れることもあったが結局はBの元に戻り、暴力を受けることを繰り返している。

このように暴力の被害者が、被害を受ける関係の中に留まり続ける現象を説明するものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① バウンダリー
- ② ハネムーン期
- ③ 複雑性PTSD
- ④ サバイバーズ・ギルト
- ⑤ トラウマティック・ボンディング

問146 2歳の女児A。Aは、生後間もない頃から乳児院で暮らしている。定期的に行われてきた発達検査では年齢相応の発達がみられ、入所直後から担当養育者となったBとの間にも安定した関係がみられている。その後、Aが2歳となり、Aは同じ県内にある児童養護施設に措置変更されることになった。児童養護施設では保育士CがAの担当になることが決まり、受け入れに向けた準備が進められている。

この後、Aが乳児院から児童養護施設へと措置変更となるプロセスにおける配慮として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 児童養護施設の受け入れ準備が整い次第、できるだけ早く措置変更をする。
- ② Cが先入観を持たないようにするために、乳児院でのAの様子についてBからCに直接伝える機会は設けない。
- ③ 乳児院で暮らす他の子どもへの影響を考慮し、他の子どもとの間ではAの措置変更に関する話題にしない。
- ④ BがAと児童養護施設を訪問したり、Cが乳児院を訪れてAと交流するなど、ならし養育(訪問交流)の機会を設ける。
- ⑤ Bとの別れや乳児院を離れることはAにとってつらい経験となることを考慮して、措置変更に関することは直前までAに伝えない。

問147 14歳の女子A、中学2年生。元気がないAの様子を心配した担任教師BからスクールカウンセラーCに相談があった。Aは、おとなしく目立たない性格であり、成績は中程度である。学校生活では自信のない様子が目立つ。CがAと面接を行ったところ、次のことが分かった。中学2年生でクラス替えがあり、女子生徒の間ではすでにソーシャル・ネットワーキング・サービス〈SNS〉のグループが複数できていた。Aは孤立を感じ次第に登校が苦痛になってきた。厳格な親からSNSを禁止されており、いらいら感が高じ、自室にこもって、カッターで手首を傷つけるようになったという。

Cの初期の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 希死念慮の有無についてAに問うことは控える。
- ② Aが手首を傷つけないようBに指導を依頼する。
- ③ 直ちにAを精神科に紹介し、主治医の指示を待つ。
- ④ Aの自傷行為の習慣性についてのアセスメントを行う。
- ⑤ Bと連携してAがSNSのグループに入れるよう、親に働きかける。

問148 20歳の男性A、大学工学部の2年生。Aからの申出はないが、Aの家族Bより、実験のあった日のAの疲労が激しいため、サポーターをつけてほしいと、学生相談室のカウンセラーCに相談があり、CはA及びBと3者面談を行った。Aは、小学校高学年時に児童精神科を受診し、発達障害の診断を受けた。以後、高校までは、授業中の課題や宿題について代替措置を講じてもらうなどの配慮を受けてきた。大学では、実験の際、指示の理解に時間がかかり、また手先が不器用で器具の扱いがスムーズにできないことで、教員にしばしば注意されている。授業時間が終わっても、居残りで実験をすることが多い。

合理的配慮について、CのBへの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 支援方法はAとCの合意によって決められると説明する。
- ② Aの精神障害者保健福祉手帳の取得が必須であると説明する。
- ③ 合理的配慮を受けるには心理検査の結果が必要であることを説明する。
- ④ Aが、授業を担当する教員に配慮内容について直接交渉する必要があると説明する。
- ⑤ Cは、Aの意思を尊重しながら大学の学生支援の担当者に伝え、支援を依頼できると説明する。

問149 16歳の女子A、高校1年生。Aは万引きをし、心配した両親に連れられて、市の教育相談室に来室し、公認心理師Bが面接した。Aは、2週間前に店でペンを1本盗んだことが発覚した。AはBに、「クラスメイトのCが私のペンを欲しがり、誕生日祝いにちょうだいとしつこくせがんできた。Cと気まずくなりたくないし、自分の物をあげるのは嫌だし、買うお金もないので、盗んで渡すしかないと思った。Cのせいで仕方なくやった」と述べた。

Aの主張について、G. M. SykesとD. Matzaが提唱した中和の技術によって説明する場合、用いられている技術として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 加害の否定
- ② 責任の否定
- ③ 被害者の否定
- ④ 非難者に対する非難
- ⑤ より高次の忠誠心への訴え

問150 A社は、創業50年になる機械製造業の老舗である。ここ数年、心の健康問題を抱える従業員の割合が高止まりの傾向にあり、新しい経営陣が職場環境改善に取り組むことになった。企業内の公認心理師Bが、メンタルヘルス推進担当者の会議に向けて、何人かの従業員にヒアリングを実施したところ、過去の高業績に貢献した古参の従業員の発言力が強く、若手の従業員は意見が軽視されて、勤労意欲の低下がみられるということであった。

その背景にあるA社の組織の特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 安全文化
- ② 権限委譲
- ③ 属人思考
- ④ 法令遵守
- ⑤ 役割葛藤

問151 22歳の男性A、無職。奇異な言動を心配した家族に連れられて精神科クリニックを受診した。同伴した家族によると、半年以上前からAは、「やっと分かりました」、「もう後戻りはできないんですね」などと独り言をつぶやきながら、にやにやと奇妙な笑顔を浮かべるようになった。Aに理由を聞いたが、まとまりのない内容で、何の話か分からなかったという。受診時、Aは主治医に対して、「このクリニックの駐車場には、赤いスポーツカーが停まっていた。あれは、お前も赤く燃えるように使命を果たせ、という私に向けられた啓示なのです」と訴えた。

DSM-5の診断基準に該当するAの病態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 双極性障害
- ② 統合失調症
- ③ 短期精神病性障害
- ④ 全般不安症／全般性不安障害
- ⑤ 統合失調型パーソナリティ障害

問152 14歳の女子 A、中学2年生。Aは、同級生からのいじめについて、同じ中学校に勤務しているスクールカウンセラー B に相談をしている。Aについて、教育相談コーディネーターの教師が中心となって支援チームの会議が開かれた。支援チームの会議には、Bのほかに、Aの担任教師と学年主任、養護教諭、生徒指導主事及び管理職が参加した。会議では A の支援や学校としての対応をどのように行うかが検討された。

B の会議での対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① いじめに関する専門的な知見などを提供する。
- ② いじめの重大事態かどうかの判断を主導する。
- ③ クラスや学年などで行う心理教育の実施について検討する。
- ④ A の具体的な支援策に関わる教職員研修の実施について検討する。
- ⑤ 守秘義務に配慮しながら、A との面接についての情報や見立てを提供する。

問153 30歳の男性A、中学2年生の担任教師。Aは、担任をしている男子生徒Bから、中学1年生の初めての定期テストで、テストの成績が悪かったことについて相談を受けた。その際、「準備不足だったかな」と伝え、Bを励ました。その後も、AはBを同様に励まし続け、Bも努力を続けていたが、成績が下がってきている。

原因帰属の観点から、AのBへの言葉掛けとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 上手くいかなかったのは、問題が難しかったからかもしれないね。
- ② 上手くいかなかったのは、努力がまだまだ足りなかったからかもしれないね。
- ③ 上手くいかなかったのは、勉強方法が合っていなかったからかもしれないね。
- ④ 上手くいかなかったのは、予想していなかった問題が出題されたからかもしれないね。

問154 9歳の男児 A、小学3年生。Aの両親はけんかが絶えず、父親からの母子に対する暴力のため警察が出動することもあり、要保護児童対策協議会で支援が検討されていた。ある日、Aが提出したテストの余白に、「しばらく前にママがいなくなりました。たすけてください」との記述を担当教師が発見した。これを受けて学校は直ちに、管理職、学年主任、担任教師、スクールカウンセラーなどを交えて対応を検討し、担任教師がAに声掛けをするとともに、市の虐待対応担当課に通告することになった。

この状況における学校の対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① 記述の内容について、Aの父親に確認する。
- ② 通告に至る事実関係を、時系列に沿って具体的に記録する。
- ③ 声掛けの際には、AがSOSを出すことができた力を支持する。
- ④ 担任教師がAに声掛けした後、管理職が現状をAに詳細に確認する。
- ⑤ 声掛けの際には、Aの発言内容は誰にも言わないことをAに保証する。

